

平成28年度防災アプリケーション公募 募集要項

国土地理院と水管理・国土保全局は、内閣府等と協力して、防災に関する地理空間情報の活用とオープンデータ化を推進するため、スマートフォン等で動作する防災に役立つアプリケーション（以下「防災アプリ」という。）の公募を行います。平成28年度は、時系列の浸水想定情報等を活用した洪水ハザードマップをテーマとする防災アプリを募集します。

応募にあたっては、以下の募集要項をご確認の上、手続き等をお願いします。

1. 本取組の目的について

国土交通省は多くの防災に関する地理空間情報を保有しており、近年、オープンデータ化に向けた検討を進めています。このような防災に関する地理空間情報の更なる活用を進めるとともに、より「利用しやすい」データの提供方法を検討するため、これらの情報等を活用した防災アプリを公募・表彰いたします。

2. 応募要件について

平成28年度の防災アプリ公募の対象となる防災アプリ及び応募者は、以下の「① 防災アプリ要件等」、「② 応募資格」を満たしていることとします。

① 防災アプリ要件等

- 1) 応募する防災アプリはタブレット端末、スマートフォンのいずれかで動作するものとします。
- 2) 応募する防災アプリは、Webアプリ、Android アプリ、iOS アプリのいずれかとします。Webアプリについては、Chrome (Android版)又はSafari (iOS版)で、Androidアプリについては、Android 4.4以上が搭載されたタブレット端末又はスマートフォンの、iOSアプリについては、iOS8以上が搭載されたiPad又はiPhoneで、それぞれ動作するものとします。
- 3) 応募する防災アプリは、国土交通省から提供する防災に関する地理空間情報を効果的に使用し、開発者が創意工夫したアプリとします。具体的には、地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）のデータやAPI（開発中）を利用する防災アプリを開発することとします。今回ご利用いただけるのは、登録されているデータのうち、国の直轄管理河川のもののみとなります。
- 4) 応募者には、受付後に、提供する防災に関する地理空間情報及びAPIの仕様を順次お知らせします。尚、APIの仕様については、開発期間中に応募者よりいただいたご要望を踏まえ、正式公開前に若干の改良を行う可能性があります。
- 5) 応募する防災アプリが有料又は無料であるかは問いません。ただし、本取組における審査や、主催者によるイベント等の実施の際には、応募する防災アプリを無料で利用できるものとします。

また、開発いただいた優良なアプリについては、水害ハザードマップに関するアプリとして一般公開を推奨します。

- 6) 応募する防災アプリで使用する言語は、初期設定の状態では日本語とします。
- 7) 悪意のあるアプリケーションや公序良俗に反するアプリケーションは対象外とします。

② 応募資格

- 1) 個人、グループ、法人を問わず、応募できます。
- 2) 同一の応募者が、複数の防災アプリを応募することもできます。
- 3) 中学生以下の方が応募する場合は、保護者又は監督者（学校の先生等）の許可を得るものとします。
- 4) 暴力団等の反社会的勢力、又は資金提供その他を通じて反社会的勢力の維持、運営、経営に協力又は関与するなど、反社会的勢力との何らかの交流、関与を行っていると思われる場合は、応募できないものとします。

3. 応募方法について

応募様式（別紙1）に必要事項を記載し、応募受付締切（平成28年7月20日）までに国土地理院防災アプリケーション事務局（以下「防災アプリ事務局」という。）に電子メール又は郵送により提出（「12. 問合せ先及び提出先」を参照）してください。

4. 防災アプリの提出について

応募者は、開発した防災アプリを提出締切（平成28年10月31日）までに防災アプリ事務局（「12. 問合せ先及び提出先」を参照）に提出してください。防災アプリの提出に際しては、審査等を行う上で必要となる防災アプリの説明資料やインストール手順書等、関係資料もあわせて提出するものとします。

詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

5. 利用する防災に関する地理空間情報及びAPIについて

提供する防災に関する地理空間情報及びAPI（開発中）の概要及び使用上の注意は別紙2のとおりです。このうち、地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ、<http://suiboumap.gsi.go.jp/>）に登録されている浸水シミュレーションに関するデータ又はこれを取得するAPIをご活用いただくことが本公募の条件となっております。

APIについては、応募者に対し要望調査を実施し、必要性を検討のうえ若干の改良を行い、平成29年2月頃正式公開する予定です。正式公開後は、数ヶ月程度の移行期間を経て改良前のAPIは提供を停止する可能性がありますので予めご了承ください。

APIについての詳細については、応募者に対して改めてご連絡いたします。

なお、別紙2に記載の地理空間情報以外の情報等を応募者が独自に準備し、利用す

ることも可能です。その際には、使用する情報等について、第三者が著作権を有しているものや、第三者が著作権以外の権利（例：写真につき肖像権・パブリシティ権等）を有している場合もあるため、権利処理済であることが明らかな情報を除き、応募者の責任において、当該第三者から利用の許諾を得るものとします。

6. 審査委員会及び審査について

応募者より提出された防災アプリについては、防災アプリケーション審査委員会（以下、「審査委員会」という。）等において審査を行い、優れた機能を有する防災アプリを選定します。

審査委員会は、防災や ICT 分野の学識経験者、防災関係の政府機関職員及び地方公共団体の防災担当職員から構成されます。

審査は、以下の流れで実施する予定です。

- 1) 提出された防災アプリについて、動作や応募要件を満たしているかを確認する予備審査を、防災アプリ事務局において行います。
- 2) 予備審査を通過した防災アプリの中から、他と比べて秀でた機能を有する防災アプリの選定を行う第1次審査を実施します。第1次審査は、有識者及び防災アプリ事務局において行います。
- 3) 第1次審査において選定された防災アプリを対象に、審査委員会において最終的な審査を行い、表彰対象となる防災アプリを選出します。選出された防災アプリに対しては、審査委員長より表彰を行います。

予備審査及び第1次審査については、提出された防災アプリ及び同時に提出される資料をもとに審査を行います。審査委員会における最終的な審査では、応募者に審査会場（都内を予定）にご来場いただき、応募者による開発した防災アプリのデモ等をお願いする予定であり、これも踏まえて審査を行う予定です。

審査は、提供する防災に関する地理空間情報及びAPIの活用方法の独創性、操作性、表示の分かりやすさ、拡張性等を総合的に判断して行います。

また、平成27年度の取り組みにおいて一般ユーザーが防災アプリに必要な機能としてあげた主な意見、要望（<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app-2015needs.html>）に対応した場合は、その部分についても評価の対象といたします。

なお、審査委員会の構成員や審査方法の詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

7. 試用調査等について

防災に関する地理空間情報の防災アプリでのより一層の活用と今後の提供方法を検討するため、審査において優れた機能を持つと評価された防災アプリについて、一般ユーザーや自治体職員等を対象に当該情報が効果的に分かりやすく利用されているかなどを把握するための試用調査を平成 29 年 1 月頃に行う予定です。

なお、試用調査等の詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

8. スケジュールについて

以上の実施内容について、以下のスケジュールで実施する計画です。（予定）とする実施内容の日程が確定した際には、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

年月日	内容
平成28年6月17日	平成28年度の応募受付開始
↓	(募集期間) 受付後、順次応募者にAPI仕様等を公開
平成28年7月20日	応募受付締切
↓	(開発期間、APIに対する要望調査)
平成28年10月31日	防災アプリ提出締切
↓	(予備審査等の実施、APIに対する要望調査を踏まえた改良検討)
平成28年11月下旬 ～12月上旬 (予定)	防災アプリケーション審査委員会開催 優れた機能を有する防災アプリの選定、表彰
平成29年1月中旬 ～1月下旬 (予定)	試用調査等
平成29年2月下旬 (予定)	改良後のAPI仕様を公開

9. 知的財産権等について

本取組における著作権等の知的財産権についての扱いは、以下によるものとします。

- 1) 応募する防災アプリの著作権等の知的財産権は、応募者に帰属するものとします。
- 2) 応募者は、応募する防災アプリが応募者の独創によるものであり、応募者がそのアプリの単独かつ独占的な所有者であり権利者であることを保証するものとします。ただし、応募者が独占的な所有者又は権利者でない場合には、応募者は、そのアプリに関して応募する権利及本募集要領に定める事項を許諾する権利を保有していることを保証するものとします。
- 3) 応募者は、著作権法等関係法令を遵守するとともに、応募する防災アプリの知的財産権を有しているものとします。万一、著作権等の知的財産権等に関わる問題が発生した場合は、応募者の責任及び費用負担で解決するものとします。また、主催者又は第三者が当該防災アプリを利用したことにより、ウイルス感染や情報漏洩などセキュリティ対策等の不備などで損害を被った

場合は、応募者が損害賠償責任を負うものとします。

なお、本項に関しては、証明のための確認書を、防災アプリの提出に併せて防災アプリ事務局に提出するものとします。

- 4) 応募者は、国土地理院が、本取組の状況や本取組に応募した防災アプリの名称、概要、画面例（動画を含む）、応募者名等を、ウェブサイトや報告書等への掲載・公開等の様々な方法により、国内外で紹介することを許諾するものとします。

10. 個人情報等の取扱い

本取組において、応募者から提出された資料等に含まれる個人情報、技術情報等については、防災アプリ事務局において適切な方法にて管理し、本取組の目的にのみ利用するものとし、法令に基づく場合を除き、本人の了解なしに第三者には一切提供しないものとします。

11. その他応募者に求める事項について

- 1) 応募者は、本募集要項の内容について理解し、これを遵守するものとします。
- 2) 防災アプリの開発や各種資料の作成、デモの実施等、本取組の実施のために応募者が必要となる経費等については、応募者自らが負担するものとします。
- 3) 国土地理院では、本取組の実施の支援を外部委託する予定であり、応募者に対する本取組に関する連絡、依頼等について、委託業者を通して行うことがあることを、応募者はあらかじめ了承するものとします。

12. 問合せ先及び提出先

本募集要項に関するお問合せ、応募様式及び防災アプリの提出は、下記防災アプリ事務局までお願いします。

防災アプリ事務局

- ・ 電子メール: gsi-bousai-app@ml.mlit.go.jp
- ・ 郵送等 : 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
国土交通省国土地理院応用地理部防災地理課
- ・ 電話番号 : 029-864-5925 (直通) 又は 029-864-6916 (直通)

(参考) 国土地理院防災アプリ専用ウェブサイト:

<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app.html>

平成 28 年度防災アプリケーション公募 応募様式

応募者名 (企業・団体名又は個人名)	(ふりがな)	

防災アプリの名称 (※)		
アプリの概要 (※) (提供情報等をどのように活用 する防災アプリか簡潔に記述し てください。)		
アプリの動作環境 (※) (OS の種類やバージョン、ハー ドウェアの制約等)		
応募者連絡先	担当者名	(ふりがな)

	所属	
	電話番号	
	E-mail アドレス	

(※) 事務局の参考にさせていただくもので、審査に影響はありません。可能な範囲でご記入ください。

(事務局使用欄)

提供する防災に関する地理空間情報及び API について

1. 地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）データ及び API

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ, <http://suiboumap.gsi.go.jp/>）に登録されている浸水シミュレーションに関するデータ又はこれを取得する API をご活用いただくことが本公募の条件となっております。

なお、API は開発中であり、変更等が発生する可能性があります。最新の情報、詳細な仕様及び提供方法については、応募者に対して追ってお知らせします。

タイルデータ一覧

	データ名称	データの概要	タイル拡張子
(1)	浸水シミュレーションデータ (洪水浸水想定区域図データ)	洪水により浸水した場合に想定される破堤点別の浸水領域や浸水深に関する時系列データ	png

タイルデータ仕様

地理院タイル仕様に基づいたデータです。地理院タイル仕様は以下のページを参照してください。

<http://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>

API 一覧

	API 名称（仮称）	API の概要
(1)	破堤点取得	緯度経度を指定することで、その地点に関連する洪水の想定破堤点の情報（名称、緯度経度等）を取得します
(2)	最大浸水破堤点取得	緯度経度を指定することで、その地点に最大浸水をもたらす想定破堤点の情報（名称、緯度経度等）を取得します
(3)	破堤点別時系列タイル取得	想定破堤点、破堤からの経過時間等を指定することで、洪水の想定破堤点別時系列のタイルデータを取得します
(4)	破堤点別最大浸水領域タイル取得	想定破堤点等を指定することで、洪水の想定破堤点別最大浸水領域のタイルデータを取得します
(5)	河川水位観測所取得	想定破堤点に対応する河川水位観測所の情報（川の防災情報へのリンク等）を取得します
(6)	氾濫水到達時間取得	想定破堤点等を指定することで、氾濫水到達時間のポリゴンデータを取得します
(7)	浸水継続時間取得	想定破堤点等を指定することで、浸水継続時間のポリゴンデータを取得します
(8)	ハイドログラフ作成	緯度経度、想定破堤点を指定することで、洪水のハイドログラフ（浸水深の時間的な変化を示したグラフ）を作成します
(9)	洪水浸水想定区域図作成範囲取得	洪水浸水想定区域図作成範囲のタイルデータを取得します

利用上の注意

- 今回ご利用いただけるのは、登録されているデータのうち、国の直轄管理河川のもののみとなります。当該河川については、応募者に対して追ってお知らせいたします。
- これらのデータ及び API を使用する際には、国土交通省ホームページに記載のリンク・著作権・免責事項 (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) が適用されます。
- これらの API は、現在開発中であり、また、応募者の要望を踏まえ、必要があれば若干の改良を検討するため、正式公開時に仕様を修正する場合があります。
- API を提供するサーバに過度の負担を与えないでください。過度の負担を与えると判断したアクセスについて、国土地理院は予告なく遮断を行う場合があります。
- 本 API を用いて行う一切の行為について国土地理院は何ら責任を負うものではありません。

2. 地理院タイル

地理院地図 (<http://maps.gsi.go.jp/>) で表示している地理院タイルをご活用いただけます。

タイルデータ一覧

地理院タイル一覧は以下のとおりです。

- 地理院タイル一覧 <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>
- ベクトルタイル一覧 <https://github.com/gsi-cyberjapan/vector-tile-experiment>

以下に地理院タイルの一例を示します。

	データ名称	データの概要	タイル拡張子
(1)	標準地図	標準的な地図データ	png
(2)	淡色地図	他の情報と重ね合わせをした場合にも見やすくなるように(1)を淡色化した地図データ	png
(3)	写真	国土地理院から提供している背景画像用のオルソ化された空中写真画像	jpg
(4)	数値地図 25000 (土地条件)	地形分類 (山地・丘陵, 台地・段丘, 低地, 水部, 人工地形など) について示したデータ	png
(5)	標高タイル	10m メッシュ標高データ等から整備した標高に関するデータ	txt
(6)	ベクトルタイル	国土地理院ベクトルタイル提供実験で提供しているベクトル形式のタイルデータ (道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、注記、基盤地図情報、地形分類など)	geojson

タイルデータ仕様

地理院タイル仕様に基づいたデータです。地理院タイル仕様は以下のページを参照してください。

<http://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>

API 一覧

	API 名称	API の概要
(1)	標高 API	経緯度等を指定することで、その地点の標高値を取得します

利用上の注意

- 地理院タイルを利用する際には、「国土地理院コンテンツ利用規約」が適用されます。詳細については、以下の「地理院タイルのご利用について」をご確認ください。

<http://maps.gsi.go.jp/help/use.html>

- 標高 API の利用方法及び利用上の注意は、以下のページをご確認ください。

<http://maps.gsi.go.jp/development/api.html>